

令和6年度事業報告書

概 況

我が国の景気は、内閣府によると「一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。」とされていますが、物価上昇の継続や、アメリカの政策動向による影響などが、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるとしています。

高齢者の就業については、国の働き方改革の推進による定年延長の拡充や、高年齢者雇用安定法の改正により70歳までの就業機会の確保が企業に努力義務として課されたことで、60歳台の会員確保が大変難しくなっています。また、インボイス制度やフリーランス新法の施行により、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は全国的に益々厳しい状況にあります。

こうした中、知多市シルバー人材センター（以下「センター」という。）においては、「第2次中期計画」の基本方針に沿って各種事業に取り組み、特に「会員数の増強」に注力した結果、会員数は前年度より20人増の564人となりました。

また、受注事業実績については、受注金額が、約9.7%増の211,213千円、派遣による給与等が、約0.6%増の31,867千円となり、コロナ禍前の実績を超えています

1 運営基盤の強化

（1）会員による運営参画の推進

理事会を中心に、専門委員会（企画調整委員会、安全・適正就業委員会、就業開拓委員会、会員増強委員会）が自主的な企画立案・実務運営に努めました。

（2）会員交流の推進

同好会等の活動をシルバー広報やホームページで情報提供し、コロナ禍で活動を控えていた同好会等の活動の活発化と拡大を支援しました。

（3）技能・資質向上、安全作業のための講習等の開催

草刈り・せん定などの屋外作業については、草刈機取扱安全講習会（2回、延べ12人参加）、せん定（刈込含む）講習会（3回、延べ26人参加）を継続的に実施し、会員以外の参加も受け入れ、将来的な就業可能な人材の養成に取り組みました。

また、トラブル防止のために接遇マナー講習会（20人参加）、施設管理に必要な普通救命講習会（2回、延べ18人参加）、6年度から新たに安全講習会と

して、熱中症やマムシ・ハチなどの咬傷・刺傷の応急処置を学ぶ救急法講習会（2回、延べ34人参加）を実施し、会員の資質や就業の質の向上に努めました。

（4）経営基盤の確立

インボイス制度及びフリーランス新法の施行により、今後は事業運営が厳しくなることが予想されるため、安定的な経営基盤の確保を目的として、6年度から事務費率を12%に改定しました。

また、適正なセンター会費への改定や、フリーランス新法への対応として新たな契約方法への見直しについて検討を進めています。

2 会員の確保

会員募集については、ちたシルバーだより、ホームページ及び市広報への掲載に加え、会員募集チラシの新聞折り込み配布（3回）及び、産業まつり等のイベントやスーパー等でポケットティッシュ配布によるPR活動を行いました。

また、市内43箇所の店舗（25箇所）及び公共施設（20箇所）にチラシ設置依頼を実施するとともに、新入会員紹介制度（6年度：15名入会）を引き続き実施しています。

新たな試みとしては、入会説明会後の未入会者への案内文送付を実施（6年度：6名入会）し、知多郵便局のお客様用封筒（2,000枚）に会員募集広告の掲載を試みました。

会員数は、前年度に比べ、20人増の564人となり、目標の560人を上回っています。

3 就業機会の確保

（1）就業開拓の推進

新たな就業先開拓については、受注チラシの配布、事業所訪問活動に加え、会員募集チラシの新聞折り込み配布や、市内25箇所の店舗にチラシの設置依頼を実施し、受注の拡大に努めました。

その結果、契約件数は4,114件（目標5,740件、前年度4,200件）、契約金額は243,080千円（目標232,170千円、前年度224,162千円）となり、契約件数は目標に達しませんでした、契約金額は目標を上回っています。

（2）独自事業の実施

佐布里池梅まつりやベティさんの家旭公園桜まつり等への出店事業、手芸品の製作販売事業、おさらい教室事業に取り組みました。

4 労働者派遣事業の拡大

会員の多様な就業機会を確保するため、市内事業所に派遣事業のPRを図るとともに、会員に対して就業斡旋を行いました。

その結果、給与等は31,867千円（目標20,160千円、前年度31,662千円）となり、目標を上回りました。

5 安全・適正就業対策事業の徹底

(1) 安全就業の徹底

安全・適正就業委員会を中心に、安全パトロール（6回）を実施しました。また、リーダー研修会、安全講習会（個人情報：45人参加、救急法：2回のべ34人参加）を開催し、事故に対する意識啓発に努めました。

6年度の事故件数は、物損事故9件（目標0件、前年度8件）、傷害事故13件（目標0件、前年度15件）となり、前年度より物損事故は1件増加、傷害事故については、2件の減少となっています。

(2) 適正就業の徹底

会員への適正就業については、入会時に適正就業ガイドラインを基に就業形態、労働関係法令等の適用、保険加入等を説明し、就業についての本人の意向を確認しています。なお、事務所掲示板、ホームページ等で就業会員募集情報の提供についても行っています。

また、前年に引き続き接遇マナーの向上とトラブル防止を目指して、接遇マナー講習会（20人参加）を開催しました。

6年度の苦情件数は2件（0件以内、前年度15件）となり、前年度から13件減少しました。

6 普及啓発事業の充実

産業まつり等のイベントに積極的に参加し、センター事業の周知に努めるとともに、イベント参加時やスーパー等でのポケットティッシュ配布による啓発活動を行いました。

メディアの活用としては、おさらい教室等の情報を知多メディアスや中日新聞に提供することにより、活動状況の放送や新聞記事にいただきました。SNSの活用では、引き続きセンター公式のInstagramとラインを利用し、普及啓発に努めています。

7 その他事業推進のために必要な事業の実施

(1) 調査研究事業の実施

役員班長研修として、先進他市センターである長久手市シルバー人材センターの視察研修会を実施し、安全就業への取組みや女性会員の獲得について説明を受けました。

また、センター間職員研修として、美浜町シルバー人材センターと阿久比町シルバー人材センターに職員を派遣し、事業運営や事務要領等を学び、事務局職員のキャリアアップを図りました。

(2) ボランティア活動の実施

地域社会に貢献する公益社団法人として、「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間(10月)」を中心に、地域班毎に保育園等の清掃・除草(12箇所・136人参加)を行いました。

また、シルバースマイルボランティア(会員、事務局職員の55人参加)活動では、産業まつり会場周辺の清掃・除草を実施しました。

(3) 個人情報等の漏えい防止

理事会、班長会等により、個人情報の適切な管理と取扱いについて説明しました。

また、シルバー広報での周知や安全講習会(個人情報:45人参加)を開催し、意識啓発の徹底に努めました。

(4) 知多市高齢者能力活用会館の指定管理業務

6年度から10年度までの5年間、センターが知多市高齢者能力活用会館の指定管理者として指定を受けており、「公の施設」である会館の適切な維持管理に努めました。利用実績は、利用件数641件(前年度540件)、利用者数4,748人(前年度4,344人)で、前年度より増加しました。

(5) 事務所庁舎の移転検討

移転先、規模等の事務所庁舎のあり方について、市との調整を継続していきます。

(6) 設立40周年記念事業

実行委員会を設置し、10月11日の記念式典に向けて、記念事業の検討を進めています。